

令和2年度 卒業期及び学年末・学年始めにおける生徒指導の重点

西部教育事務所

児童生徒が、1年間の生活を振り返り、達成感や充実感をもてたり、4月からの新しい生活に向けて、期待や希望をもてたりできるような指導の充実をお願いします。

卒業期及び学年末の指導の充実



- ・ 互いの努力や成果を認め合う場を設け、児童生徒に1年間の自己の成長を振り返らせ、**新たな希望**をもって新年度を迎えられるようにしましょう。
- ・ いじめや不登校等が心配される児童生徒が、一人で悩みを抱えたまま春休みに入ることのないようきめ細かく実態把握し、解消に向けた対応を休業前に進めましょう。配慮が必要な児童生徒には、現学年の担当教員が中心となって休業中も連絡をとるなど、**新年度に気持ちを新たに**して登校できるよう指導・支援に努めましょう。
- ・ スマートフォンやSNSの使い方やルール、犯罪から身を守るための方策等について**家庭でも話し合う機会**をつくるよう啓発に努めましょう。また、インターネット端末の利用について、保護者が利用状況を把握することの重要性や、家庭でのルールづくりやフィルタリングの必要性について、引き続き保護者への啓発を行っていきましょう。
(参考) 群馬県中学校 非行防止プログラム2「ネットトラブルについて考えよう」
(令和2年10月改訂/群馬県教育委員会、群馬県警察本部)
- ・ 長期休業中の過ごし方について、起床、就寝、食事、運動等、一日の生活リズムを計画し、具体的な目標を考える場を設定することで、子供たちが**健康的で充実した生活**を送れるように指導をしましょう。
- ・ 万引・喫煙・夜遊び等の問題行動を起こしたり、わいせつ・恐かつ等の被害や交通事故に遭ったりしないための具体的な指導を行いましょ。

学年始めの指導の充実

- ・ 児童生徒が主体となって楽しい学校生活の過ごし方について考える機会を設けるなど、児童生徒がスムーズに新年度のスタートを切れるよう学校全体で指導を進めましょう。
- ・ 引き継いだ児童生徒一人一人の指導の記録の確認や日常の観察により、個々の児童生徒の実態や人間関係を把握するとともに、望ましい人間関係を築くための学年行事や学級活動等を取り入れるなど、**学年・学級経営の充実**に努めましょう。

次年度に向けた、いじめ、不登校、問題行動等への対応の充実

- 学校評価アンケートの結果等を参考に、年度内に自校の生徒指導方針、学校いじめ防止基本方針、生活のきまり、気になる児童生徒への支援計画等を見直しておき、新年度に全職員で共通理解を図り、職員間で温度差のない**組織的な指導・支援体制**がつけられるよう努めましょう。
- 個々の児童生徒の指導の記録や今後の指導方針等を整理して新年度に引き継ぐなど、学年間や小中学校間の情報伝達を確実にいき、つながりのある指導に努めましょう。
- 長期休業中における児童生徒に関する情報の収集方法や職員間の連絡方法など、問題行動等発生時の組織的な対応の仕方を全教職員で確認しておき、早期発見・対応に努めましょう。